

## 第2次高知県自転車活用推進計画（案）に係る意見公募の結果

高知県 土木部 道路課

- 1 意見公募期間 令和7年5月16日～令和7年6月16日
- 2 意見の数 33件（個人4名）
- 3 意見の内容と県の考え方

意見No	御意見	項目	県の考え方
1	高知県において「自転車通行不可」の歩道がどこにあるのかを知りたい。 車道通行は順守しますが、選択肢として知っておきたい。 ネット上にマップを公開してもらえたら周知できて良い。	「2. 目標・施策」「3. 措置」 目標3（自転車事故のない安全で安心な社会の実現）	いただいたご意見につきましては、今後の自転車活用推進の上で参考とさせていただきます。
2	日常生活での自転車利用が減少するのは、ある程度致し方ないと思われる。 運転免許を取得していない、できない層しか自転車を利用しない。 高知県民成人の大半は運転免許と自家用車を保有しており、生活圏の移動距離が長かったり坂道のため、自転車の利用は困難。 （一部市街地を除く）そのため利用環境整備に力を入れても効果が薄いとされる。	「2. 目標・施策」「3. 措置」 目標1（自転車に係る利用環境の整備）	利用環境整備につきましては、整備が必要な箇所を把握するために、まずはネットワーク計画を策定し、整備路線・形態を検討したうえで、整備に取り組んでまいります。
3	トランポ駐車場の設置。ロードバイク乗りは自宅から出発するとは限らない。自転車を自家用車に積載し目的地付近まで移動してからロードバイクに乗る。 トランポの積載場所の確保ができないと、走りに行くのが困難となる。四万十川上流域を走る時は、土日に限り四万十町役場職員駐車場が利用できるが、そういった自家用車を駐車できる場所を各地に整備してほしい。もしくは役場駐車場やJR無人駅の駐車スペースなどを解放。（サイクルトレインができるなら、さらに発展しうる）道の駅には長時間駐車できない。	「2. 目標・施策」「3. 措置」 目標2（サイクリングを活用した観光振興、スポーツ振興、健康長寿社会の実現）	サイクリストの方々にも使いやすい自家用車の駐車場所の情報整理について、各市町村及び関係機関と調整していきます。
4	危険な道路の改修。ロードバイクでの行動は、行って帰っての往復コースより、円を描く周回コースが望まれる。途中に細く暗いトンネルなど危険な場所は走りたくないが、それがネックでコース設定が困難となっている。 例1：仁淀川町国道33号寺村トンネル。狭くて交通量が多く路面が荒れている。 例2：浦戸大橋、浦戸湾を周回するコースや海岸線を利用するコース、走りにくい高知市街地を迂回するバイパスとして利用できるが、自転車が走られる道路幅がない。長浜渡船利用もありうるが、乗船時間に間に合うような時間調整しながら走るのは大変。 例3：国道194号、大森トンネル。自転車が安全に走られる道路幅がない。早明浦ダム周回コースに使える。 例4：夜須から安芸への自転車道。浮き砂利と落ち葉が多く走りにくい。周囲の草木が多い茂っており視界も悪い。 登り坂はゆっくり走る事になるため、自転車が通る部分の幅を十分に。	「2. 目標・施策」「3. 措置」 目標1（自転車に係る利用環境の整備）	自転車の通行空間の確保は有効であることは承知しておりますが、未改良の道路を多く抱える本県において、自転車通行空間の整備にかけられる予算確保が難しい状況をご理解ください。 いただいたご意見につきましては、今後の自転車活用推進の上で参考とさせていただくとともに、適切な維持管理に努めてまいります。
5	エイド施設の充実。 休憩場所となりやすい道の駅やコンビニなどに、補修用チューブなどの販売を担ってもらう。 しまなみ海道のように自販機でチューブ販売可能。 おもてなしサポーターの拡充。	「2. 目標・施策」「3. 措置」 目標1（自転車に係る利用環境の整備）	いただいた御意見につきましては、今後の自転車活用推進の上で参考とさせていただきます。
6	サイクルトレインの運行。混雑する時間以外に限って、自転車持ち込み可能とする。 赤字路線なので、やって失敗しても赤字には変わらないのなら、期間限定でテスト運行を試すのもあり。	「2. 目標・施策」「3. 措置」 目標2（サイクリングを活用した観光振興、スポーツ振興、健康長寿社会の実現）	現在、本県と愛媛県をつなぐJR四国予土線（宇和島駅～窪川駅間）において、予土線サイクルトレイン試乗試験の実施をしているところです。 また、本計画では、自転車の活用の推進に関する目標及び実施すべき施策 目標2「サイクリングを活用した観光振興、スポーツ振興、健康長寿社会の実現」の中で「サイクルトレイン等によるサイクリストの受入環境の整備等により快適なサイクリング環境を創出し、サイクルツーリズムを推進する」こととしております。 いただいたご意見につきましては、今後の自転車活用推進の上で参考とさせていただきます。
7	スタンプラリーの開催。 ありきたりだがブロガーなどのSNS拡散に繋がる。	「2. 目標・施策」「3. 措置」 目標2（サイクリングを活用した観光振興、スポーツ振興、健康長寿社会の実現）	いただいたご意見につきましては、他県の事例も参考にサイクリングに関するイベントの開催等について関係機関と協議し、検討してまいります。
8	幼少期からヘルメットの着用を強く推し進めることで、ヘルメット着用は当たり前の風潮に仕向ける。（三つ子の魂百まで）	「2. 目標・施策」「3. 措置」 目標3（自転車事故のない安全で安心な社会の実現）-施策16	いただいたご意見につきましては、今後の自転車活用推進の上で参考とさせていただきます。
9	モベットやフル電動自転車と呼ばれる原付扱いになる車体の排除と、法にのっとった規制。	「2. 目標・施策」「3. 措置」 目標3（自転車事故のない安全で安心な社会の実現）-施策16	自動二輪車や原動機付自転車に区分されるモベット等の適切な利用方法について、今後も継続的に広報を実施し、周知を図っていくとともに、交通違反を認めれば指導取締りを実施します。

意見No	御意見	項目	県の考え方
11	<p>■高知県における自転車利用の実情の把握</p> <p>事故発生件数や交通分担率のデータはあるものの、実際の自転車利用の実情について把握がされておらず、議論が深められません。自転車がどのように利用されているか、主に利用しているのはどのような世代なのか、県民の本当の自転車分担率はどの程度なのかといった、議論の下支えになるデータが不足しています。このようなデータを収集したうえで、計画を策定したり、運用したりする必要があると考えます。大変残念ながら、本計画はその前提を満たすことが出来ておらず、国が進めるEBPM（証拠に基づく政策立案）が出来ていません。少なくとも、今後5年間の運用を進めるにあたって、しっかりとしたデータを取る必要があると考えます。</p>	<p>「1.総論」</p> <p>(3) 高知県における自転車を巡る現状及び課題</p>	<p>いただいたご意見をふまえ、国や他県の取組を情報収集し、本県での取組について研究してまいります。</p>
12	<p>■安全で安心な自転車利用環境の創出にむけた取組</p> <p>県が進める道路整備もあるはずですが、本計画においてはその点が触れられていません。</p> <p>例えば、「目標1 自転車に係る利用環境の整備」では「2. 自転車通行空間整備推進の技術的支援及び安全・円滑な通行を図るための適正な維持管理を行う。」とありますが、これでは新たに整備はせず、既存の環境を維持するだけとしか読めません。</p> <p>県道の整備を中心に、県が実際に利用環境を積極的に整備していく必要があると感じます。高知県は車が優先される社会と言われますが、自転車の利用環境が整備できていないので、やむをえず車を利用している側面もあると思います。市町村任せの消極的な書きぶりではなく、総論で県自身が書き込んでいる「歩行者と自転車が分離された自転車本来の通行空間の整備は断片的なものにとどまっており、交通状況や事故の発生状況に応じて歩行者、自転車、自動車が適切に分離された空間整備を行う必要がある」について、県が自ら整備してください。</p>	<p>「2. 目標・施策」「3. 措置」</p> <p>目標1（自転車に係る利用環境の整備）-施策2</p>	<p>利用環境整備につきましては、整備が必要な箇所を把握するために、まずはネットワーク計画を策定し、整備路線・形態を検討したうえで、整備に取り組んでまいります。</p> <p>ネットワーク計画に位置づけられた県管理道路については県が整備を行ってまいります。</p>
13	<p>■交通ルールを県民に広く周知するための取組</p> <p>自転車の交通ルール（法律）は非常に複雑かつ実情に即していないため、ルールを守ると身に危険が及ぶ場合も多いです。例えば、国道56号高知県高知市河ノ瀬町（通称、河ノ瀬交差点）は、車の渋滞解消と歩行者の事故を減らすという2つの目標のみを達成するために改修された結果、自転車が交通ルールを守ると死の危険がある交差点となっています。これらは交通ルールの欠陥であるとともに、自転車の利用を考慮せず設定されたことが問題です。</p> <p>自転車の交通ルールは複雑ですので、子どもよりもむしろ大人に対する教育が必要であると感じます。おりしも、自転車の交通取り締まりに関する法律が変更され、2026年4月1日から反則金制度（通称青切符）が始まります。先日行った自主的な調査によると、国道33号線の自転車歩行者道路ではない道路（歩行者専用道路）を1時間に140台もの自転車が通過しました。このような状況を鑑みると、青切符制度が導入されるからという訳ではないですが、子どもに向けた広報・啓発活動だけでなく、大人に向けたしっかりとした教育活動を行うことが必要であると考えます。</p>	<p>「2. 目標・施策」「3. 措置」</p> <p>目標3（自転車事故のない安全で安心な社会の実現）-施策16</p>	<p>交通安全教室や交通安全イベント、ホームページやSNS等あらゆる機会、全世代に向けて自転車の交通ルールについて広報を実施していきます。</p>
14	<p>・本県の自然・文化と～在り方について検討する</p> <p>本計画は5年間の取り組みを示すものと総論に書かれています。この書き方では、5年かけて検討するということになってしまいます。</p> <p>サイクルツーリズムを強く推進していくために、検討で終わらせず、期限を区切って行動計画を示し、どのようなサイクルツーリズムを実現していくかについて記載し、計画最終年に到達できたかを検証する必要があります。</p>	<p>「2. 目標・施策」「3. 措置」</p> <p>目標2（サイクリングを活用した観光振興、スポーツ振興、健康長寿社会の実現）-施策8-取組①</p>	<p>ご指摘を踏まえ、目標2 施策8/取組①の文言を以下のとおり、修正します。</p> <p>「本県の自然・文化とサイクリングを組み合わせた体験コンテンツの造成、環境整備の推進」</p> <p>なお、計画最終年までの指標、目標値については別表のうち、目標2 施策9～14の指標、目標値を検証していくこととしております。</p>
15	<p>・鉄道事業者や～情報発信等を実施していく</p> <p>サイクルトレインやサイクルバスはすでに全国的に取り組みとして進んでいます。</p> <p>例えば同じように交通が脆弱な和歌山県では、ほぼ全域にわたり自転車をそのままJRに積み込むことが出来るサービスがスタートしています。</p> <p>今更情報発信を5年かけて行う必要はなく、どのようにすれば事業者に取り組んでもらえるかを検討、実証していく必要があります。</p>	<p>「2. 目標・施策」「3. 措置」</p> <p>目標2（サイクリングを活用した観光振興、スポーツ振興、健康長寿社会の実現）-施策8-取組②</p>	<p>サイクルトレインやサイクルバスの取組においては、実施する鉄道事業者やバス事業者の意向が重要であり、本県から積極的に各民間事業者へ呼びかけ、実証の可能性に向けて検討してまいります。</p>
16	<p>・マウンテンバイク愛好家らと～情報発信等実施していく</p> <p>こちらも同様に、山梨県や神奈川県などですでにマウンテンバイクの利用は進んでおり、国土交通省がそれらを認定しています。</p> <p>森林の利用に際しては、地元自治体のみならず、県の果たすべき役割は非常に大きいため、情報発信に留まらない積極的な関与が求められます。</p>	<p>「2. 目標・施策」「3. 措置」</p> <p>目標2（サイクリングを活用した観光振興、スポーツ振興、健康長寿社会の実現）-施策8-取組③</p>	<p>森林の利用については、所有者と森林を有する地域が連携・協働して取組を進める必要があるため、情報発信後に、コース整備の話が出てきた際にはサイクルツーリズムの推進に向け、事業者等と調整してまいります。</p>
17	<p>・サイクリングアイランド四国～情報発信を行う。</p> <p>情報発信をして観光客が来ても、現状では受入態勢が整っておらず、スポーツサイクリストが満足できる水準にありません。</p> <p>狙うべきは普段は自転車に乗っていないものの、非日常の観光であれば自転車に乗ってもらえるような層だと考えられます。</p> <p>そうした層にPR出来るような場所でのPRが必要と考えられます。</p>	<p>「2. 目標・施策」「3. 措置」</p> <p>目標2（サイクリングを活用した観光振興、スポーツ振興、健康長寿社会の実現）-施策9-取組①</p>	<p>本県では、高知県スポーツツーリズムポータルサイト「スポる！KOCHI」において様々なサイクリング利用者層を対象として、イベント等の情報発信を実施しています。引き続き各利用者層に応じた周知を図ってまいります。</p>
18	<p>・海外からのサイクリングツアーの受入</p> <p>現状で県内事業者で海外からのサイクリングツアーを受け入れられる団体は2～3しかありません。</p> <p>サイクリングツアーは通常のツアーと異なり、危険が伴うため、誰でも受け入れられるものではありません。</p> <p>急ぎ足に海外からのツアーを呼び込むのではなく、県内に受け入れられる事業者を育てていく必要があると考えます。</p>	<p>「2. 目標・施策」「3. 措置」</p> <p>目標2（サイクリングを活用した観光振興、スポーツ振興、健康長寿社会の実現）-施策10-取組①</p>	<p>海外からのサイクリングツアーの受け入れについては、現在、県内外の企業や団体、地域の皆さまと情報交換をしながらツアー造成や環境整備を実施しているほか、訪日外国人受入のためのガイド養成等も進めているところです。今後も、安心・安全な受け入れに向けて取り組んでまいります。</p>

意見No	御意見	項目	県の考え方
19	<p>・外国人向け情報発信サイト～行う。</p> <p>上述と同じですが、現状で海外のサイクリストが満足できる仕組みがありません。</p> <p>例えば、高知県内で外国人の方が持ち込むような一般的でない自転車（ロードバイクという意味ではなく、海外は日本では使われていないような規格の自転車や非常に古い規格の自転車を持ち込む人が多いです）に対応できる自転車店は1店しかありません。</p> <p>受け入れ態勢が整わないうちにお客さんを招き入れることは、将来に対するリスクでしかありません。</p>	<p>「2. 目標・施策」「3. 措置」</p> <p>目標2（サイクリングを活用した観光振興、スポーツ振興、健康長寿社会の実現）-施策10-取組②</p>	<p>18にも記載しておりますが、県内外の企業や団体、地域の皆さまと情報交換をしながら、より安心・安全な受け入れを実施してまいります。</p>
20	<p>・予土線地域での県境をまたぐイベント</p> <p>デジタルスタンプラリーが悪いわけではないですが、県庁が5年間の計画に書き込むには非常に弱い取り組みだと思います。</p> <p>ここでは実際の参加者数が掲載されておらず、非公表であるため客観的な評価が行えませんが、魅力的な地域であるにも関わらず、活用できていないことは大変残念に思います。</p> <p>宿泊や食事を伴う魅力的なイベント、マウンテンバイクのイベント等、実施できる取組はまだまだ多くあると思います。</p>	<p>「2. 目標・施策」「3. 措置」</p> <p>目標2（サイクリングを活用した観光振興、スポーツ振興、健康長寿社会の実現）-施策11-取組①</p>	<p>予土線地域での県境をまたぐイベントについては、予土県境地域連携実行委員会において、高知・愛媛両県、沿線の自治体と連携し取り組んでいるところです。</p> <p>いただいたご意見を参考とさせていただきますつつ、実行委員会を通じて予土線地域の活性化に取り組んでまいります。</p>
21	<p>・大規模大会、サイクリングイベントの誘致</p> <p>イベント誘致は費用が掛かるだけで、地元経済にほとんど寄与しません。</p> <p>仁淀ブルーライドというイベントが行われていましたが、東京の会社への発注でほとんどの予算が使われていたと聞き及んでいます。</p> <p>大規模なイベントを誘致するのではなく、小規模でも地元の方が続けていくことが出来るイベントを支援する必要があります。</p>	<p>「2. 目標・施策」「3. 措置」</p> <p>目標2（サイクリングを活用した観光振興、スポーツ振興、健康長寿社会の実現）-施策11-取組②</p>	<p>大規模なイベントについては、その費用対効果等を鑑みて必要な支援を実施しております。</p> <p>一方、小規模のイベントについては、サイクリングのみならず、そのイベントの立ち上がりから自走化までを高知県観光コンベンション協会を通じながら支援を実施しております。</p>
22	<p>・市町村等が実施する～支援する</p> <p>あえて市町村等となっていることから、自治体以外の団体に対しても支援をすると解釈します。そのうえで次のコメントをいたします。</p> <p>サイクリングイベントは多くの機関の協力を得ないと実施できません。イベント実施に際して、県庁の複数の課の協力（許可）が必要になります。</p> <p>事務手続きが非常に煩雑かつすべてにゼロから説明をし、了承を得、時には断られることもあります。</p> <p>スポーツツーリズム課が一元窓口となり、県庁内の手続き支援を行ってくれることを望みます。</p>	<p>「2. 目標・施策」「3. 措置」</p> <p>目標2（サイクリングを活用した観光振興、スポーツ振興、健康長寿社会の実現）-施策12</p>	<p>一般的にサイクリングイベントに限らず、使用許可等の対応についてはその内容の煩雑さに関わらず、申請者が許可権限を持つ機関と調整の上、対応するものとなっております。</p> <p>なお、各機関への説明協力が必要な場合は適宜対応しております。</p>
23	<p>・幅広い年齢層におけるサイクルスポーツの振興</p> <p>掲載されている2つの取り組みではサイクルスポーツの振興は困難と感じます。サイクルスポーツと一概に行っても、オンロードサイクリング、オフロードサイクリング、トラック、室内サイクリング、採点種目等々、多くの種目があります。</p> <p>これらを振興するのであれば、まずはこれらの種目を県民に知ってもらう必要があります。サイクルスポーツの見本市のような取り組みが必要であると感じます。</p>	<p>「2. 目標・施策」「3. 措置」</p> <p>目標2（サイクリングを活用した観光振興、スポーツ振興、健康長寿社会の実現）-施策13</p>	<p>サイクルスポーツの見本市に限らず、県主催のイベントについては、費用対効果を前提にその実施の可否を判断しております。</p> <p>他県の事例も参考にしながら、費用対効果の高いイベントの実施に向けて検討してまいります。</p>
24	<p>・自転車を活用した健康づくり</p> <p>県内開催の自転車イベントで、健康パスポートの発行を促されたことがありません。もっとしっかりと情報をキャッチする必要があります。</p>	<p>「2. 目標・施策」「3. 措置」</p> <p>目標2（サイクリングを活用した観光振興、スポーツ振興、健康長寿社会の実現）-施策14</p>	<p>今年度より、定期的に市町村へイベント調査を実施し、イベントでの健康パスポートのポイント付与について、広報を行ってまいります。</p>
25	<p>自転車事業者（自転車店、旅行会社）といった有識者、自転車を生活で利用する県民、学識経験者等、広く意見を集め、自転車活用に関する県の課題について議論する場が必要です。</p> <p>多くの県では自転車を交通機関の1つとしてきちんと位置付け、社会的地位を向上させる動きが始まっています。自転車は観光の手段だけではなく、人々の日常交通の手段です。今後、スマートシュリンクで賢く縮んでいくことを目指すのであれば、車中心の社会から、自転車をより活用し、ペロタクシーや自転車カーゴ等の活用を促進していくべきです。自転車が交通の中心に位置づけられるような社会を目指す必要があります。そのためにも、自転車の地位向上に向けて県民や有識者から意見を聴取できる場を設定するべきです。</p>	<p>「4. その他」</p> <p>(1) 関係者の連携・協力</p>	<p>いただいたご意見をふまえ、幅広く意見を聴取できる場の設置にむけて検討を進めてまいります。</p>
26	<p>本計画においては、実際の自転車の活用状況と道路整備や県の取り組みの間にズレが生じているように感じます。</p> <p>例えば安全のためにヘルメットの着用率を向上させようとしていますが、ヘルメットはメーカーが推奨する着用方法を守り、日々の管理をきちんと行った際に、事故発生時に頭部へのダメージを少なくする程度の効果しかありません。実際には、正しく被ることが出来ていない人や、管理がきちんとできずメーカーが想定した強度を保てていないヘルメットが非常に多く見受けられます。これらは11で述べた通り、県が実際の状況を正確に把握できていないことから発生しているように感じます。</p> <p>計画策定が無駄にならないようにするために、実情把握を正確に行い、その実情に応じた計画の策定を期待します。</p>	<p>全体に対する意見</p>	<p>いただいた御意見につきましては、今後の自転車活用推進の上で参考とさせていただきます。</p> <p>実際の自転車利用の実情把握に努めてまいります。</p>

意見No	御意見	項目	県の考え方
27	<p>■自転車活用関連全般について</p> <p>立てている目標そのものは普遍的で問題ないと思うが、その目標に対して具体的にどう進んでいくか道筋が何も見えない。誰のため何のための事業なのかをはっきりさせていないものが多いように見える。</p> <p>イベントをやっても、イベント外での経済効果が無ければ意味がない。地元民は付き合いで無償協力だけしていることも多い。</p> <p>イベントに予算を使うなら、途中で途切れている歩道の延長や、隙間が大きくて危ないグレーチングの交換や、側溝の泥を除去することによってもらいたい。</p> <p>認定ルートがあるのなら、そのルートくらいは安全に走行できるように整備してほしい。</p> <p>個人的には、それよりも日常使いの道路整備のほうが大事だと思う。</p>	全体に対する意見	<p>いただいた御意見につきましては、今後の自転車活用推進の上で参考とさせていただきます。</p> <p>安全な通行を確保するために、適切な維持管理に取り組んでまいります。</p>
28	<p>■ぐるっと高知サイクリングロードについて <a href="https://sporu-kochi.com/gcourse/">https://sporu-kochi.com/gcourse/</a></p> <p>いくつか見てみたが、どのコースにも走った模様の掲載すら無い。まったく走るイメージが湧かない。</p> <p>観光客がレンタサイクルで巡るのにおすすめなのか、サイクリストが高知を走るのに向いているのか、地元の文化を楽しみたい人におすすめなのか、ターゲット不明。</p> <p>このコースを使ったイベントがあれば補助が出るなどの施策がある（あった？）はさすが、補助目当てのイベントになるのは目に見えている残念な仕組みでしかないとの印象です。</p> <p>「KMLダウンロード」とあっても、KMLファイルを取り込んでコースを見ることが出来る層はサイクリストの中でも限られており、観光目線で考えるとなんの役にも立っていない。</p> <p>また、そういったサイクリストはそもそもこういったルートでは満足しないし、自分で調べるのでKMLファイルは不要。それよりもルートを地図で見れることが重要では。</p> <p>ターゲットを絞り込むか、誰にでもわかるようにWebサイトを整備する必要があります。現状、ただのやつつけ仕事にしか見えません。</p> <p>自分自身のサイクリスト目線としては、これが高知のおすすめサイクリングルートかと言われると、ほとんどが交通量のある国道ばかりで危ないうえに退屈なルートで、高知の良さは何も見えてこないですね。非常に残念な状況です。</p> <p>サイクリスト向けとしては、各ルートの情報は少ないがサイト上でルートが見られるうえにメジャーな2つのWEBサービスでデータを見られる瀬戸内VELOの方が出来が良い。</p> <p>県としてはこちらに誘導するか、こちらくらいの情報濃度が重要では。 <a href="https://setouchivelo.jp/">https://setouchivelo.jp/</a></p>	<p>「2. 目標・施策」 「3. 措置」</p> <p>目標2（サイクリングを活用した観光振興、スポーツ振興、健康長寿社会の実現）-施策13</p>	<p>当該記事については、高知県スポーツツーリズムポータルサイト「スポる！KOCHI」への掲載記事であることから、幅広い層が閲覧することを想定して作成しております。</p> <p>サイクリングコースの概要の可視化については、それぞれの対象にあわせてわかりやすい、サイト構成を検討してまいります。</p>
29	<p>あるサイクリングを含む旅行商品<sup>※</sup>について、海外の方から「問い合わせをしたが返事がない」などの問い合わせが来たことがあります（2件）。</p> <p>県の事業で予算つけて商品造成をして販売しているにも関わらず、こんな問い合わせが来る程度の事業なら、イメージ悪化でしかないので廃止してほしいものです。</p> <p>有意義なことに予算を使っていたきたいです。</p> <p>※旅行商品名については、非公表とさせていただきます。</p>	<p>「2. 目標・施策」 「3. 措置」</p> <p>目標2（サイクリングを活用した観光振興、スポーツ振興、健康長寿社会の実現）</p>	<p>ご指摘いただきました旅行商品については県事業で予算化したものではございません。また、サイトにつきましても、民間事業者が運営しているものであることから、その廃止等について県が判断できる立場にございません。</p>
30	<p>■インバウンド対応について</p> <p>インバウンドのサイクリングツアーに携わった経験上で判断すると、高知県内は受け入れ施設が少ないです。</p> <p>サンプル少ないですが、施設の方の意見としては「英語が分からない」「どうしていいか分からない」「現金のみだから対応が面倒」という意見が多いです。</p> <p>（コンサルなどと）会議をする事業より、具体的な対応をお願いします。</p> <p>携帯翻訳機（ポケトークなどの製品）の購入支援や、対応方法の”具体的な”レクチャー、キャッシュレス決済導入の支援など。</p>	<p>「2. 目標・施策」 「3. 措置」</p> <p>目標2（サイクリングを活用した観光振興、スポーツ振興、健康長寿社会の実現）</p>	<p>県では市町村が実施する観光関連施設のキャッシュレスの整備・多言語対応等のインバウンド受入環境整備に対して支援を行っております。加えて、今年度は、県内の観光施設や事業者に向けたキャッシュレス決済導入や多言語化対応のためのセミナーを実施します。こうした取組を通じて外国人観光客の受入環境の充実を図ってまいります。</p>
31	<p>■サイクリスト対応について</p> <p>他県に比べて対応しているような面も見えるが、サイクリスト（やスポーツを伴う旅行者）が何を求めているかが分かっていないように思えます。</p> <p>具体的な対策は割愛しますが、身のある対応をお願いしたいです。</p>	<p>「2. 目標・施策」 「3. 措置」</p> <p>目標2（サイクリングを活用した観光振興、スポーツ振興、健康長寿社会の実現）</p>	<p>サイクリングに関する取組については、関係機関、団体からご意見を伺いながら進めているところです。</p> <p>今後も、皆さまのご意見を伺いながら実効性の高い取組を進めてまいります。</p>
32	<p>■インバウンドのサイクリストに対して</p> <p>各国から四国にサイクリングツアーをしに来ていますが、しまなみ海道が陸続きにあるという幸運を活かさなければならぬ。</p> <p>彼らは走るルートについては自分で調べるか四国内の旅行者者にルート作成やガイドツアーを依頼しているので（見かけたらインタビューしている結果）、県が民業の邪魔をする必要はない。</p> <p>必要なのは安全に走れるように啓蒙活動をするのと、緊急時の対応についてのパンフレット配布やウェブサイトで情報を見られるようにしておくこと。</p> <p>山が深い高知なので、マイナートラブルでも起きた場所によっては一大事になるのでは。</p> <p>緊急対応については、トラブルにでくわした地元民が困らないようにする面でも効果は高い。</p>	<p>「2. 目標・施策」 「3. 措置」</p> <p>目標2（サイクリングを活用した観光振興、スポーツ振興、健康長寿社会の実現）</p>	<p>サイクリストの緊急時に対応できる民間事業者が少ないという現状があることから、HP等で自転車の安全走行に関する情報発信を検討してまいります。</p>
33	<p>■自転車健康になる系の話について</p> <p>自治体職員でも誰でもいいので、一般市民で「ここ数年、自転車はじめて健康になった、趣味としてどっぷり浸かっている」といった人のインタビューをしてほしい。</p> <p>一般市民目線では「自転車健康になろう」とか言われてもイベントでサイクリストを見かけてもイメージが湧かない。身近な人が自転車で痩せたとかならイメージが湧く。</p> <p>インタビューついでに県の施策について意見をまとめてほしい。長年自転車をやっているだけの人よりも新鮮で、これからやってみようという層にも刺さるものがあるはず。</p> <p>予算もかからず効果が出せるのでは。</p>	<p>「2. 目標・施策」 「3. 措置」</p> <p>目標2（サイクリングを活用した観光振興、スポーツ振興、健康長寿社会の実現）</p>	<p>いただいたご意見を参考に関係課へ周知を行い、日常的な自転車利用の普及促進の取組んでまいります。</p>